

白馬村の経済産業構造分析

～白馬村産業連関表の作成およびその分析～

<概要版>

1. 白馬村の経済産業構造分析の目的

○観光地域づくりには観光マーケティングを推進する来客者データのほかに、地域の経済実態すなわち白馬村の産業構造・就業構造・取引構造の把握が不可欠である。

○そのためには、各種統計データ、実際の商品流通データ等を用いて、地域産業連関表（白馬村産業連関表）を作成することが必要である。

○地域産業連関表を用いることによって、白馬村における特徴的な宿泊業、飲食サービス業、建設業、農業、電力など個別産業の経済構造を分析し、政策展開の方向性及び政策内容を把握することができる。

○今回の経済分析プロジェクトは、「対話」と「データ」が地域づくりの原点であるという認識のもとに、持続可能な観光地域づくりを推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 経済産業構造分析は白馬村の人間ドック

地域経済産業構造分析は、
疾病予防や生活習慣病の改善を目指す年に1度の人間ドックのようなもの



○人間ドックが体内の機能不全の部分、弱っている部分をチェックして治療を促すように、地域経済産業構造分析も、地域内の経済活動をチェックして、健全な地域経済構造への転換を促すことができる

○一定の基準を設けて生活習慣病（BMI、血圧、血糖値など）の判定を行うように、一定の基準（自給率、漏出率等）を参考に、健全な地域経済への転換を促すことができる



地域経済産業分析は、的確な「データ」を提供することによって、地域内の「対話」を促し適切な政策形成を実現することができる

4. 取引実態調査の実施

<目的>

白馬村の下記調査対象事業者に対し、従業員数、年間売上額等、取引実態に関する調査を実施し、実際の取引額等の裏付けを行い、産業連関表の投入係数精度向上を図る。

<調査対象・有効回答数>

業種	調査事業所数	有効回答数
宿泊業	538	119
飲食業	68	22
建設業	31	18
索道業（鉄道業）	6	4
その他産業	133	67

3-1. 白馬村の経済産業構造（RESASより）

○白馬村の企業売上高（2016年）を地域経済分析システム（RESAS）の大分類で見ると、「宿泊業、飲食サービス業」「建設業」「運輸業、郵便業」で全体の65.1%を占めている。

○更に中分類で売上高の高い産業を主要産業であると位置付けると、白馬村の主要産業は下表の産業であると推測できる。

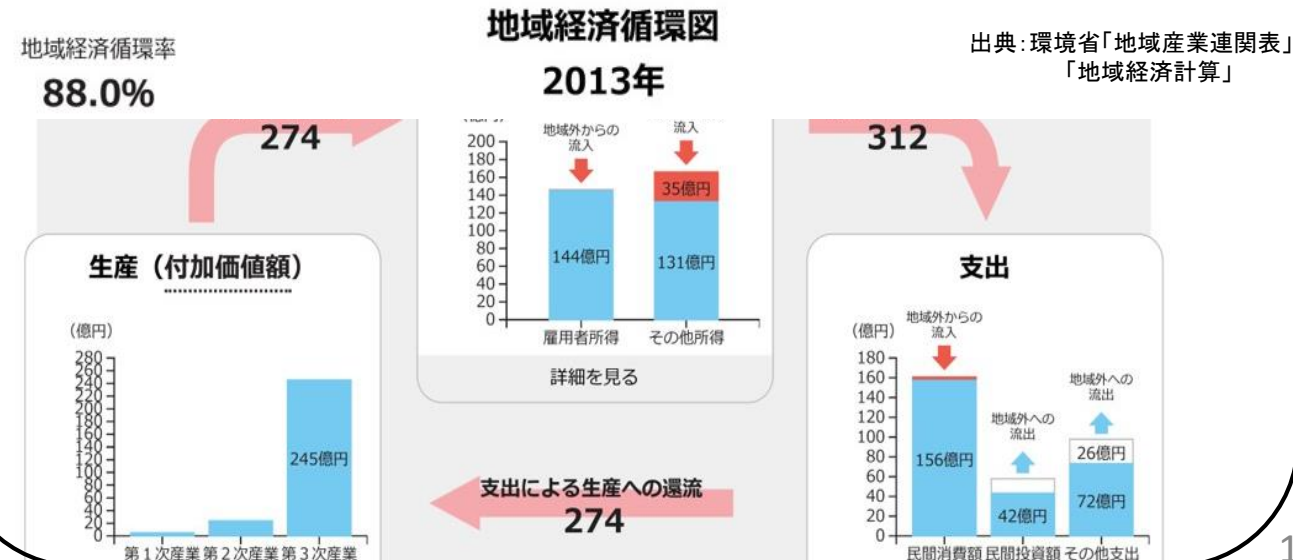
売上高全体:37,743百万円



3-2. 白馬村の地域循環図（RESASより）

○RESASによる地域経済循環図で白馬村の状況を確認すると、「所得からの支出」が「所得への分配」を上回っており、地域外への資金の流出が起きていることがわかる。

○ただし、支出における民間消費額を見ると地域外から5億円の流入があり、これは観光収入によるところが大きいと考えられる。



5. 白馬村産業連関表の構造と分析

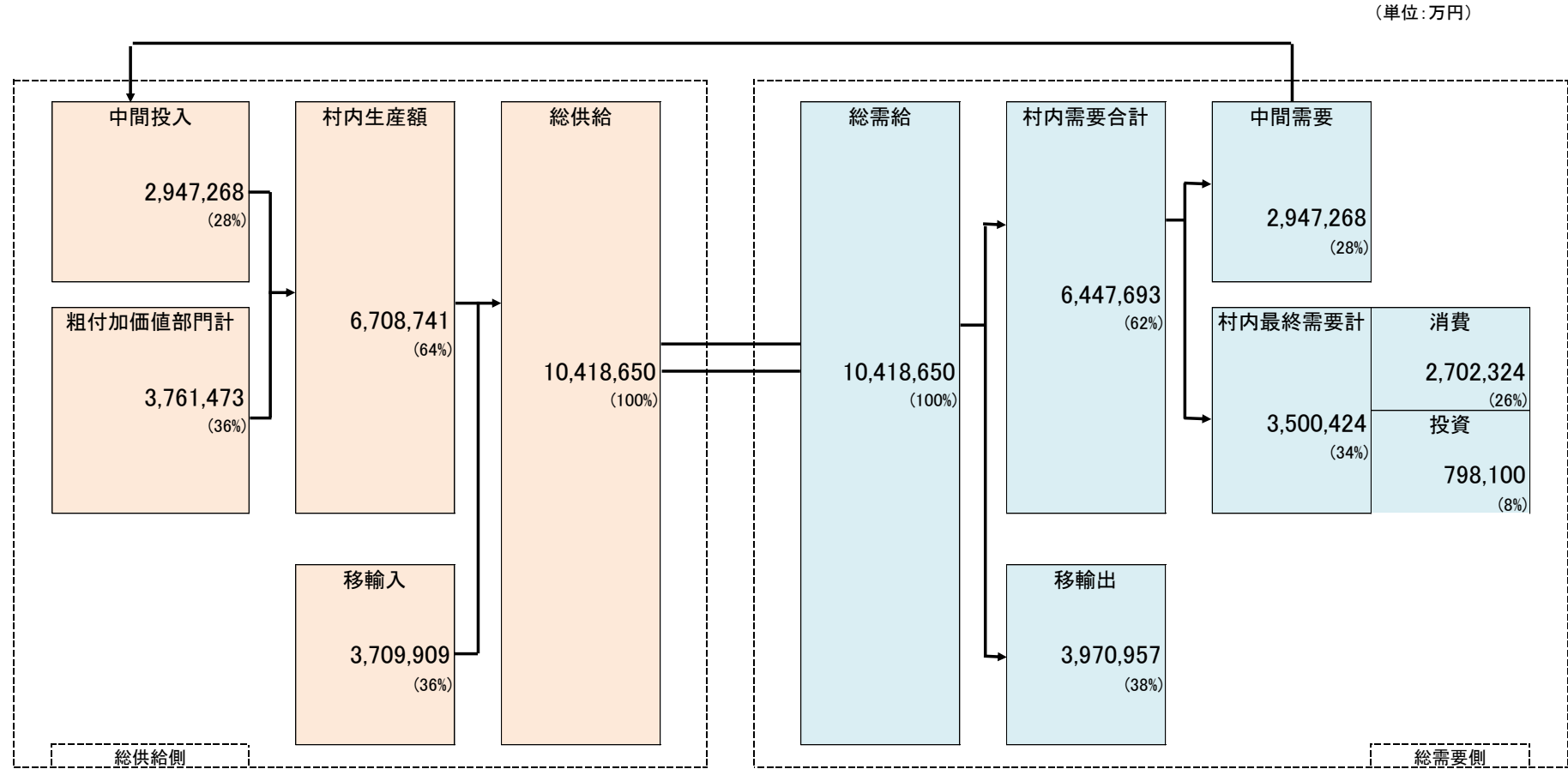
- この図は、白馬村の産業連関表の全体像であり、白馬村の経済構造を表している。
- 生産額は、約670億円あり、その内訳は、中間投入が294億円、粗付加価値は376億円となっている。
- 総供給は、生産額と移輸入約370億円を合わせた約1,040億円となっている。
- 需要部門では、村内需要合計は約644億円あり、その内訳は、企業活動による需要（内生部門）が294億円、家計や公的支出、投資などから構成される村内最終需要が350億円となっている。
- 需要は、村内需要合計に移輸出約397億円を合わせた約1,040億円となっている。

需要部門		供給部門											(単位:万円) (控除)移輸入計 村内生産額	
		総供給	最終需要											
供給部門		総供給	中間需要	消費				投資				移輸出		
総供給	村内生産額	10,418,650	2,947,268	2,702,324				798,100					3,970,957	
			中間投入	家計外消費支出	民間消費支出	一般政府消費支出	一般政府消費支出(社会資本等減耗分)	村内総固定資本形成(公的)	村内総固定資本形成(民間)	在庫純増	調整項			
10,418,650	6,708,741	10,418,650	2,947,268	111,194	1,814,272	728,544	48,314	163,247	499,219	9,619	126,015	3,970,957	-3,709,909	6,708,740
				粗付加価値	家計外消費支出	雇用者所得	営業余剰	資本減耗引当	資本減耗引当(社会資本等減耗分)	間接税(関税・輸入品商品税を除く。)	(控除)経常補助金			
				3,761,473	111,194	1,845,167	566,953	926,481	87,905	245,245	-21,474			
				移輸入										
				3,709,909										

6. 白馬村産業連関表の総供給と総需要

- この図は、白馬村の産業連関表をもとに、経済構造を図式化して内訳の割合を示している。
- 総供給の内訳は、村内の生産が64%、村外からの購入（移輸入）が36%となっている。
- 総需要の内訳は、村内の需要が62%、村外への販売が（移輸出）が38%となっている。

白馬村産業連関表の経済構造図



八方池からの白馬三山

7. 白馬村の移輸入率・移輸出率と自給率

- 次頁の一覧は、白馬村が移輸入率・移輸出率と自給率などの村際収支を表している。
- 村外に販売した移輸出が約397億円で、村外から購入した移輸入が約370億9千万円となっている。
- 移輸出から移輸入を引いた村際収支は、約+ 2 6 億円となっており、村外との取引はプラスの収支となっている。このプラスの値を牽引しているのが、宿泊業や飲食業が含まれる対個人サービス業である。
- 白馬村の全体自給率は、**42.46%**であり、半分以上を村外からの購入に頼っていることになる。
- 白馬村の主要産業の自給率は、索道業が含まれる運輸・郵便業は67.74%、宿泊・飲食業が含まれる対個人サービス業は、53.37%と半分以上を村内で賅っている

NO	産業	村内需要合計	移輸出金額	(構成比)	移輸入金額	(構成比)	村際収支	移輸出率	移輸入率	自給率
01	農林水産業	122,394	95,957	2.42%	73,146	1.97%	22,811	78.40%	59.76%	40.24%
06	鉱業	128,666	66,340	1.67%	83,746	2.26%	-17,406	51.56%	65.09%	34.91%
11	飲食料品	387,594	12,532	0.32%	379,109	10.22%	-366,577	3.23%	97.81%	2.19%
15	繊維製品	44,543	0	0.00%	44,543	1.20%	-44,543	0.00%	100.00%	0.00%
16	パルプ・紙・木製品	118,112	60,124	1.51%	77,401	2.09%	-17,277	50.90%	65.53%	34.47%
20	化学製品	100,468	46,237	1.16%	69,161	1.86%	-22,924	46.02%	68.84%	31.16%
21	石油・石炭製品	155,916	0	0.00%	155,916	4.20%	-155,916	0.00%	100.00%	0.00%
22	プラスチック・ゴム	39,629	0	0.00%	39,629	1.07%	-39,629	0.00%	100.00%	0.00%
25	窯業・土石製品	77,094	82,346	2.07%	21,336	0.58%	61,010	106.81%	27.68%	72.32%
26	鉄鋼	23,769	0	0.00%	23,769	0.64%	-23,769	0.00%	100.00%	0.00%
27	非鉄金属	15,075	0	0.00%	15,075	0.41%	-15,075	0.00%	100.00%	0.00%
28	金属製品	54,414	24,903	0.63%	37,551	1.01%	-12,648	45.77%	69.01%	30.99%
29	はん用機械	30,051	0	0.00%	30,051	0.81%	-30,051	0.00%	100.00%	0.00%
30	生産用機械	79,471	0	0.00%	79,471	2.14%	-79,471	0.00%	100.00%	0.00%
31	業務用機械	55,959	0	0.00%	55,959	1.51%	-55,959	0.00%	100.00%	0.00%
32	電子部品	10,334	4,472	0.11%	7,306	0.20%	-2,834	43.27%	70.70%	29.30%
33	電気機械	60,126	0	0.00%	60,126	1.62%	-60,126	0.00%	100.00%	0.00%
34	情報・通信機器	131,349	0	0.00%	131,349	3.54%	-131,349	0.00%	100.00%	0.00%
35	輸送機械	107,349	0	0.00%	107,349	2.89%	-107,349	0.00%	100.00%	0.00%
39	その他の製造工業製品	69,562	4,340	0.11%	66,623	1.80%	-62,283	6.24%	95.78%	4.22%
41	建設	400,674	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0.00%	100.00%
46	電力・ガス・熱供給	206,050	156,050	3.93%	100,386	2.71%	55,664	75.73%	48.72%	51.28%
47	水道	33,000	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0.00%	100.00%
48	廃棄物処理	80,734	10,983	0.28%	73,297	1.98%	-62,314	13.60%	90.79%	9.21%
51	商業	564,074	244,369	6.15%	398,607	10.74%	-154,238	43.32%	70.67%	29.33%
53	金融・保険	277,961	58,718	1.48%	238,202	6.42%	-179,484	21.12%	85.70%	14.30%
55	不動産	340,429	452,063	11.38%	0	0.00%	452,063	132.79%	0.00%	100.00%
57	運輸・郵便	644,379	548,322	13.81%	207,885	5.60%	340,437	85.09%	32.26%	67.74%
59	情報通信	228,404	44,146	1.11%	198,512	5.35%	-154,366	19.33%	86.91%	13.09%
61	公務	230,696	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0.00%	100.00%
63	教育・研究	196,752	190,055	4.79%	99,282	2.68%	90,773	96.60%	50.46%	49.54%
64	医療・福祉	451,523	76,166	1.92%	285,619	7.70%	-209,453	16.87%	63.26%	36.74%
65	その他の非営利団体サービス	60,847	30,163	0.76%	40,423	1.09%	-10,259	49.57%	66.43%	33.57%
66	対事業所サービス	443,315	212,334	5.35%	299,540	8.07%	-87,206	47.90%	67.57%	32.43%
67	対個人サービス	432,676	1,496,374	37.68%	201,777	5.44%	1,294,597	345.84%	46.63%	53.37%
68	事務用品	3,698	5,461	0.14%	0	0.00%	5,461	147.68%	0.00%	100.00%
69	分類不明	40,607	48,504	1.22%	7,765	0.21%	40,739	119.45%	19.12%	80.88%
【参考】	(★)建設	400,674	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0.00%	100.00%
4業種 中分類	(★)鉄道	251,005	352,420	8.87%	12,374	0.33%	340,046	140.40%	4.93%	95.07%
合計には、	(★)宿泊業	66,912	1,203,686	30.31%	34,197	0.92%	1,169,488	1798.91%	51.11%	48.89%
含めていない	(★)飲食サービス	188,081	163,784	4.12%	77,179	2.08%	86,605	87.08%	41.04%	59.96%
	合計	6,447,693	3,970,957	100.00%	3,709,909	100.00%	261,048	61.59%	57.54%	42.46%

8-1. 白馬村産業連関表作成の意義

- 白馬村の地方創生に関する的確な政策立案には、白馬村産業連関表の作成は不可欠である。なぜなら、地域産業連関表とは地域内の実体経済を克明に写す精緻な鏡であり、地域のこれからを指し示す羅針盤だからである。
- 白馬村産業連関表を分析することで、白馬村における主要な産業の姿、村内自給率、村外からの移輸入率を明確にし、個別産業の構造分析を通じて、産業育成・産業振興の政策立案を的確に行うことができる。
- 同時に、各種インフラ整備など公共事業、民間投資例えば集客施設・ホテル建設、景観整備、再生可能エネルギー供給などの経済波及効果を算出することによって、政策的経費の費用対効果を分析することができる。
- こうした経済波及効果にとどまらず、家計への雇用効果、行政への税収効果、地域社会への定住人口効果など地域経営の根幹をなす領域への政策的効果を検証することができる。
- 白馬村産業連関表の作成は、「エビデンスに基づく政策立案：EBPM (Evidence Based Policy Making)」を可能とし、明確なデータによる地域住民との「対話」を促し、政策立案と政策効果のチェック機能を果たすことができる。

8-2. 白馬村産業連関表による分析の視点

- ①白馬村経済産業構造を明らかにする
 - ・白馬村を支えている産業を明らかにすることができる。
 - ・白馬村の生産所得、支出所得、分配所得を明らかにし、地域内循環の状況を把握することができる。
- ②白馬村の供給から需要に至る経済活動の全体像を明確にする
 - ・総供給と総需要の全体像を示すことができる。
 - ・産業別供給構造と需要構造を示すことができる。
- ③白馬村の自給率を算出することにより地域循環率を明らかにする
 - ・産業別に自給率を求めることにより、循環率の高い産業、低い産業を明らかにすることができる。
 - ・産業別自給率を引き上げることによる白馬村における経済波及効果を算出することができる。
- ④白馬村の産業別影響力係数、感応度係数を明らかにする
 - ・産業別に経済全体への影響度の大きさを把握することができる
 - ・産業別に経済全体から受ける影響度の大きさを把握することができる
- ⑤白馬村の新規経済活動がどのような経済波及効果をもたらすかを明確にする
 - ・様々な分野、例えば産業分野、観光・イベント分野、交通・公共施設・まちづくり、地方創生、地域環境問題など地域経済活動の個別テーマに関する経済波及効果を算出することができる。

8-3. 新規の政策および事業の効果測定と検討（産業連関表を用いると以下のような試算が可能となります）

- ①産業分野
 - ・企業誘致の産業別経済波及効果の算出
 - ・地産地消事業の地域経済へ与える効果の算出
- ②観光・イベント分野
 - ・インバウンド宿泊客増加のみならず経済波及効果の算出
 - ・スポーツイベント、各種イベント等による観光客増のみならず経済波及効果の算出
 - ・ホテル及び集客施設建設による投資効果、消費効果を総合的に把握し、経済波及効果の算出
- ③交通・公共施設・まちづくり分野
 - ・電線地中化、案内標識、景観整備、歩道の整備等インフラ整備事業がもたらす経済波及効果の算出
 - ・市街地再開発がもたらす地域経済効果、経済波及効果の算出
 - ・ロードバイク、マウンテンバイク等自転車コースの整備による経済波及効果の算出
- ④地方創生・地域環境問題分野
 - ・海外移住者増加による経済波及効果と政策的経費の効果測定
 - ・人口ビジョン達成に必要な観光客誘客数の推計
 - ・バイオマス発電建設と事業運営による経済波及効果と村内経済構造に与える長期的な影響度把握